

# 平成29年第3回安城市議会定例会請願文書表

平成29年9月1日

番 号	請 願 第 1 号	受理年月日	平成29年8月23日
件 名	安城市民の水を守る水源涵養林の保全を求める請願		
提 出 者	特定非営利活動法人地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょう 理事長 神谷輝幸 他1名		
紹 介 議 員	深津 修		
付 託 委 員 会	経済福祉常任委員会		
要 旨	<p><b>請 願 の 趣 旨</b></p> <p>安城市は、明治用水の通水とともに日本デンマークといわれるほど農業を中心に発展しました。その後、工業化へと発展し続けてまいりました。これも、奥三河や根羽村等を水源とする矢作川の水の恵みにあります。明治用水開削当時、人々は水に苦勞しましたが、今、水の苦勞を知る世代は、少数となりつつあります。</p> <p>安城町初代町長岡田菊次郎翁は、「水を使う者が水を作るべきである」というメッセージを發し、水源地の山を買い、水源の森を保全することの重要性を後世に伝えました。</p> <p>近年、水の需要は高まり、飲料水や防災のために地下水を利用する傾向も強まっています。そのために、今後は、矢作川の水だけでなく、地下水にも目を向けて良質な水を得るために水源の森を確保することが重要です。</p> <p>ところが現在、水源地の山は、スギ・ヒノキの放置林が目立ち、水源林としての機能が低下しています。平成12年の東海豪雨では、水源地の山はいたるところで削られ、激しい爪痕を残しました。このことをきっかけに豊田市では、水道料金の一部で水道水源林を購入し、水源林保全事業を始めました。</p> <p>水の恩恵を多く受けてきた安城市民として、NPO法人森を再生する会は、奥三河の設楽町において、水源地保全のため、広葉樹の植林を進めてきました。当会は、平成22年に、設楽町の山林2haを購入し、水源林として広葉樹を植林し、水源林づくりを進めています。</p> <p>また、認定特定非営利活動法人地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょうは、水源保全林として確保するため、安城市と交流の深い根羽村の山林36haの購入を目指し、運動を始めています。</p> <p>私たちのこうした活動は、安城市民が広く享受する水の問題であり、啓発の意味でしかありません。今後は、市民の生活やいのちを守るために、安城市として取り組むべき問題であると信じています。</p> <p>今年、岡田菊次郎翁生誕150年に当たります。翁の遺志を引き継ぐためにも、根羽村の山林を購入し、水の受益者である都市部の人々が、豊かな広葉樹に包まれた水源の森を永久に保全する事は、時代の要請だと考え、以下請願いたします。</p> <p><b>請 願 事 項</b></p> <p>安城市の水を確保するため、水源涵養林の保全に資する基金を設立するなどし、将来にわたって良質な水を安定的に供給できるように努める。</p>		